

《 浅草寿地区町会連合会 》

日時：11月5日（金） 午後3時から（会 場：寿区民館）

◇町会活性化について

質問	回答	対応
<p>令和元年に区で「町会活動に関する意識調査」を実施し、その結果報告がありました。</p> <p>それを見ると、どの地区でも町会員の高齢化や役員のみなり手不足、マンション増加による町会の会員の加入促進の難しさ等、深刻な課題は共通しているように思います。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、さらに町会の運営は厳しくなっています。</p> <p>区は調査結果を今後、どのように活用し、様々な課題を解決させていくのか、町会活性化の支援策等を具体的にお聞きしたいです。</p>	<p>町会活性化の支援策は大きく2点あります。</p> <p>1点目は「町会運営の個別支援、並びに町会同士の情報共有」です。町会が直面する様々な課題を解決していくためには、全ての町会に対して一斉に支援を行うと同時に、個々の町会に対し個別に支援していく方法も重要であると考えています。そこで、令和3年度より「アドバイザー派遣」を開始しました。他の町会の取り組みについて共有し、良いと感じた事例は積極的に取り入れ、町会運営に活かしていただきたいと思います。</p> <p>2点目は「町会活動の情報発信」です。調査結果より、「町会がどのような活動をしているのか分からない」と回答した方が多かったため、区公式ホームページで各町会を紹介する作業を行っています。同時に、新たに転入された方々が、自分がどこの町会なのか分かるような準備も進めています。</p> <p>今後、町会同士を結び付けるきっかけづくりの提供についても、検討してまいります。</p>	○

◇花と緑で街を飾る運動を

質問	回答	対応
<p>数年前に左衛門橋通り沿いに花壇が設置され、四季折々の花が植えられていて、道行く人達の心を和ませています。しかし、花壇に水やりをする等、お世話する人の負担になっていると思うので、多少でも手数料等をあげていただければ励みになり、協力してもらえるかと思えます。</p> <p>また、浅草寿地区では近年、お寺の所有地だった所が次々とマンションになっており、緑が徐々に減少しています。人々が心にゆとりを持って生活するには、花や樹木の緑は欠かせないと思えます。</p> <p>花と緑で街を飾る運動を台東区の各地区の地域の形状や個性に応じて、さらに充実させて展開していただきたいと思えます。</p>	<p>左衛門橋通りの花壇維持管理については、区からじょうろ等の用具提供をさせていただき、「花の心フラワーサポーター」の皆さまに水やり等のご協力をいただきながら実施しています。</p> <p>今後、寒暑対策に応じた用具等も支援対象品目として検討させていただきます。</p> <p>また、区では条例に基づき、新築工事時に敷地面積に応じた緑化を義務付けており、マンションについても緑化を指導しています。</p> <p>これらに加え、民間施設緑化助成制度や保護樹木制度等も活用しながら、緑の保護、緑化推進に取り組んでいます。</p> <p>今後も花の心プロジェクトを推進し、区民の皆さまに喜んでいただけるよう、花とみどりの創出を図り、心豊かでうるおいのあるまちを目指してまいります。</p>	—

◇区長と語る会について

質問	回答	対応
<p>現在、「区長と語る会」は町会長からの質問を受ける形で実施されています。</p> <p>しかし、報告書を見ると、毎年同じような質問が出て、同じような回答をいただくことが多いように思います。</p> <p>以前は区政運営協力の会で区の事業等の説明をいただいていたが、その会の開催が中止となり、区政の方針等を直接聞く機会が無くなってしまいました。</p> <p>会の実施方法の検討が可能であれば、区長が今後2～3年に目指している政策等を20～30分程度説明をいただきたいと思えます。区の方針等を直接聞く機会を希望します。</p>	<p>「区長と語る会」では、各地区町会連合会の皆さまから毎年貴重なご意見・ご要望をいただき、対応可能なものについては早急に対応し、課題については関係機関と解決に向けて取り組んでいます。</p> <p>今後、区の事業等の説明をどのような形でお話しするのが良いか検討してまいります。</p>	☆

◇水防訓練の実施について

質問	回答	対応
<p>区が作成した水害ハザードマップによると、台東区の東部分は荒川、隅田川の氾濫が起きた場合に、広範囲にわたり浸水被害が想定されるそうです。全国的に、水害が一旦起きると広大な面積に被害が広がり、多くの人的被害、建物被害、動産被害など住民の生活を脅かす状況になっています。</p> <p>今まで区では防災訓練を行い、災害が発生した場合に対応する訓練を実施してきました。また、各町会、町会連合会などでも独自の防災訓練を実施しています。しかし、その訓練は大地震発生の際に対応する訓練でした。その訓練をそのまま水害発生時に対応させることは難しいと思います。</p> <p>区でハザードマップに対応できる水防訓練のモデル訓練の実施を、各地区の実情に応じて企画していただきたいです。家庭内でできる防水策、浸水時に身を守るための最善策、その際マスクの着用はコロナ禍の中どの時点まで必須か、そして、溺れないために即座に用意できる緊急浮き具の作り方など、実践を交えた説明を直接受ければ印象に残り、いざという時に活用できると思います。</p>	<p>本区でも荒川、神田川、内水、高潮による氾濫や、谷中・池之端地区での土砂災害が想定されるため、大雨や台風への備えの重要性が高まっています。</p> <p>水防訓練の多くは水害発生後を想定し、消防署、消防団、水防団の救助活動を想定して実施しています。</p> <p>区民の皆さまに向けては、防災指導者講習会や出前講座で、ハザードマップの活用や東京マイ・タイムラインの作成方法など、浸水前に安全に避難するための講習を実施しています。出前講座は町会やマンション単位で実施していますので、危機・災害対策課にご相談ください。</p> <p>また、区ではNHKと連携し、区民事務所などの区有施設に氾濫水の画像を重ね合わせ、荒川氾濫時に各所の想定される浸水の深さを表示したポスターを作成しました。このポスターを浸水被害が想定される全町会に配布し、町会掲示板等に掲示していただくことで、区民の皆さまに被害をより実感できるものと考えています。</p> <p>なお、風水害時には災害の状況により、区が避難場所を開設します。区からの情報を確認していただき、速やかに避難していただくようお願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇商店街への支援について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、区の中の商店街でもコロナ前と比べて、収入が落ち込んでいる店舗が多いと聞きます。</p> <p>蔵前商店街では、複数の店舗が協力し合って、様々な事業展開を試みてきました。飲食店メニューの無料宅配サービスを行ったり、1か所で複数の店舗の商品の受け取りができるようにしたり、その売上げの一部をコロナ対応で過酷な状況にある医療機関への支援のため、寄付をしたりもしました。</p> <p>しかし、未だ先が見えない中、商店街の存続に関して大いに危機感を持っています。</p> <p>区では、今後、どのように商店街活性化への支援をしてくださるのか質問します。</p>	<p>区では都と連携し、近隣の佐竹商店街やおかず横丁などでも行っているような売り出しイベント事業のほか、アーケードやアーチ・街路灯の整備事業など、商店街の活性化を図る取り組みを支援しています。</p> <p>また、地域の暮らしを支える近隣型商店街については、商店街活動や施策に精通したアドバイザーと連携し、それぞれの商店街の実情に応じたアドバイスや支援事業の活用をサポートしています。</p> <p>その他にも、商店街の個店が持つ自慢の逸品・サービスの情報誌「にこまる」を発行し、近隣型商店街の紹介と情報発信も行っています。</p> <p>今後も商店街の実情を把握しながら、意欲的な取り組みを支援してまいります。</p>	<p>○</p>